

自主防災会実態調査アンケート結果

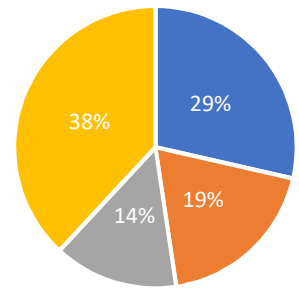
1 自主防災会の活動状況

問 1) 自主防災会の訓練状況についてお答えください。(複数回答)

①一回あたりの住民の参加率は

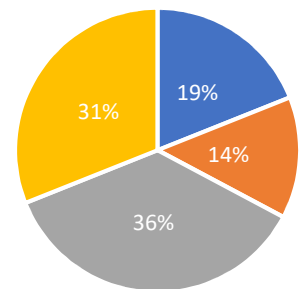
50%以下	60%	70%	80%
6	4	3	8
29%	19%	14%	38%

・組合加入世帯は全世帯参加(伊賀良)



②参加者の構成を教えてください

子ども	中高生	成人	お年寄り
11	8	21	18
19%	14%	36%	31%



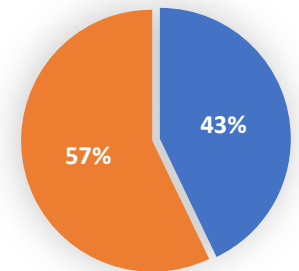
③防災訓練は年に何回実施していますか

1回	2回	3回以上
11	10	
52%	48%	0%

問 2) 自主防災会の活動についてお教えてください。(〇印選択)

①自主防災マニュアルについて

・地域の実態に合っていて妥当	・見直しを検討したい
9	12
43%	57%



②自主防災会組織について

・見直す必要はない	・見直しの必要がある
9	12
43%	57%

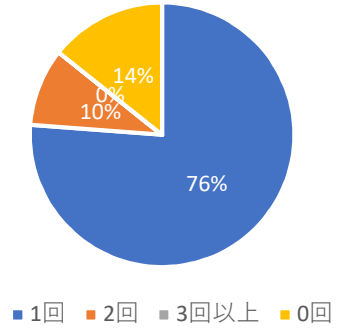
③災害時の被害想定についてどのように考えていますか

・被害想定を把握している	・想定していない	・その他
10	10	1
48%	48%	5%

・土砂災害は想定、地震はしていない(羽場)

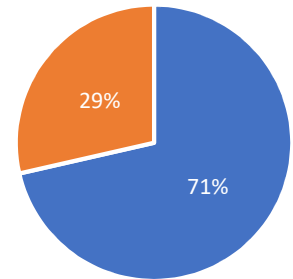
④防災知識の普及のための学習会(年)

1回	2回	3回以上	0回
16	2	0	3
76%	10%	0%	14%



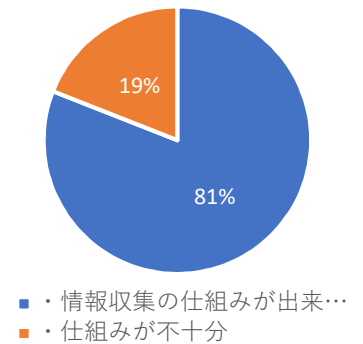
⑤避難行動要支援者の把握

・要支援者が把握されている	・把握しているが不十分
15	6
71%	29%



⑥安否や被害の情報収集

・情報収集の仕組みが出来ている	・仕組みが不十分
17	4
81%	19%



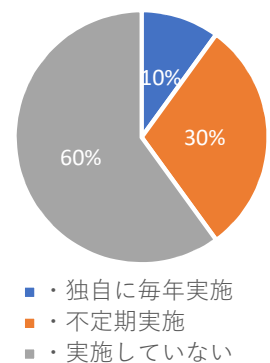
⑦避難所運営の訓練

・運営訓練を行っている	・訓練は行っていない
17	4
81%	19%

問 3) 実施している防災訓練以外の活動をお教えてください。(○印選択)

①防災講演会

・独自に毎年実施	・不定期実施	・実施していない
2	6	12
10%	30%	60%

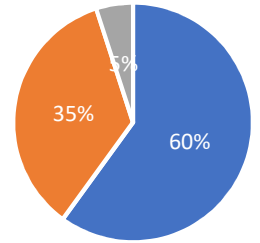


②リーダー養成研修

・研修会を計画的に実施	・実施していない
5	15
25%	75%

③防災マップの作成

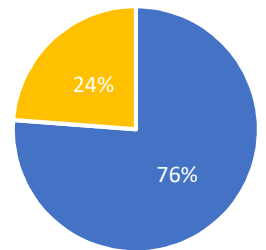
・マップ作成している	・作成していない	・その他
12	7	1
60%	35%	5%



- ・市が作成している防災マップ、また、地区で作成している住民支え合いマップで対応（千代）
- ・市で作成のマップを活用（伊賀良、上郷）

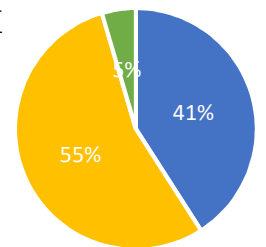
④避難行動要支援者マップの作成

・毎年見直しされている	・見直しは不定期
16	5
76%	24%



⑤我が家の避難計画の作成

・取り組みを行っている	・取り組みはしていない	・一部の地区
9	12	1
41%	55%	5%



⑥その他の活動があれば

- ・除雪機、発電機の定期試運転、資機材点検整備・備品確認（羽場、上郷）
- ・避難行動要支援者マップの作成は各区によりまちまち（松尾）
- ・地区ごとに訓練企画実施しているため異なる部分がある（下久堅）

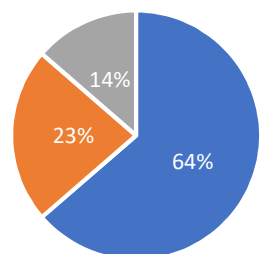
※避難行動要支援者とは、高齢者・障害者・乳幼児等の災害時に特に配慮を要する者

問 4) 現在、自主防災会で課題と考えていることをお教えてください。

(複数○印選択)

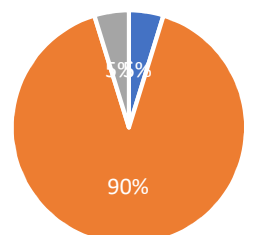
①防災活動への参加者の状況

・参加者は世帯ひとり	・世帯複数参加	・その他
14	5	3
64%	23%	14%



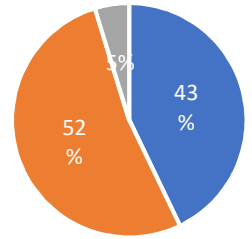
②リーダー等の人材育成について

・人材育成をしている	・人材育成まで至っていない	・その他
1	19	1
5%	90%	5%



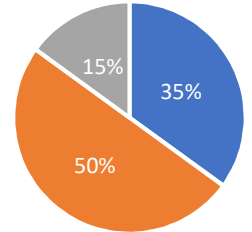
③防災活動の活動状況に関して

・良好な活動	・良好とまで至っていない	・その他
9	11	1
43%	52%	5%



④活動費や資機材の充実

・充実している	・充実しているとはいえない	・その他
7	10	3
35%	50%	15%



⑤その他

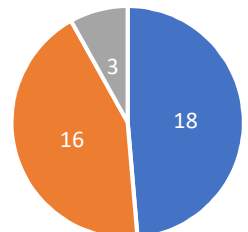
- ・活動費や資機材は町内により異なる（橋北）
- ・活動費や資機材は計画的に整備をしている（丸山）
- ・地区ごとに違う課題があると予想する（下久堅）
- ・コロナ禍の中での避難所運営（千代）
- ・資機材は毎年買い足している（伊賀良）
- ・④について1/2補助有り継続依頼（山本）
- ・役員の交代により、運用を熟知している者の確保ができない。（上郷）
- ・組合外の方など、自主防災会に加入していない世帯とつながりを持つこと。（上郷）

2 大きな震災に備えての対応

問 5) 自主防災会では大地震に備えてどのような対策を奨励していますか。（複数○印選択）

- ①食料や飲料水、日用品などを準備することを奨励している
- ②家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動防止する器具の取り付けを奨励している
- ③特に何もしていない

①	②	③
18	16	3
49%	43%	8%



問 6) 災害時有効な「家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止する器具の取り付け」に関し対応状況について、この中から1つだけお答えください。

- ①奨励し家具・家電などの固定ができていることを確認している
- ②奨励はしているが装置取り付けは進んでいない（確認していない含む）
- ③特に奨励などはしていない

①	②	③
	17	4
0%	81%	19%

- ・平成21年飯田市から転倒防止器具が配布条件付きで無料配布されています。転倒防止器具たんすガード、ストッパー式ふんばる君の2種類。当時、健康福祉委員が取り付けが素人には難しいとの感想があったそうです。（上郷）

問 7) 問6に関連して②あるいは③と回答されたことについてお聞きします。取り付けが進まないことをどの様に考えていますか。（複数○印選択）

- ①適当な移動防止方法が分からないから
- ②移動防止器具の取り付け作業が難しいと思うから
- ③費用が掛かるから
- ④特に理由は無い
- ⑤その他

①	②	③	④	⑤
3	5	5	9	3
12%	20%	20%	36%	12%

- ・各家庭への家具等の固定を推奨しているが、固定状況の把握までは行っていない
(丸山、座光寺)
- ・自主性に任せている（伊賀良）
- ・奨励しているが意識がない（山本）
- ・個人住宅については必要性の情報提供までと思う（鼎）

問 8) 自主防災会で工夫していることを取り組みについてお教えてください。

(記述・自由回答)

① 防災活動の参加者を増やすための工夫

- ・令和4年度の防災訓練では、様々な避難者の受け入れに対応できるように段ボールパーティションを使うなどして、避難所開設訓練を行うよう計画を立てた。（橋北）
- ・避難所運営ゲーム等、まちづくり主催し意識を高める（東野）

- ・ 防災訓練への小中学生の参加を増やすため、「麻績のお宝体験事業」を対象事業とした。
※麻績のお宝体験事業・・・座光寺在住の小中学生を対象に、地域行事に参加することでポイントを貯めると協賛店で使える地域券を配布する事業（座光寺）
- ・ 各区が実情に応じて訓練内容を精査し、実施している（松尾）
組合回覧等による参加の呼びかけ。子どもの参加を促すため、小中学校への依頼を行ったことがある（下久堅）
- ・ 各区長・常会長を通じ、地区民へ訓練への参加を呼びかけ、住民の意識は高い。（龍江）
- ・ 各区独自の訓練や研修の企画も毎回行われていて、参加意識の向上に役立っている（龍江）
- ・ 避難訓練には大勢の人が参加していただけるよう、声かけをしている（千代）
- ・ 事前計画の各戸配布（川路）
- ・ 生活安全委員に全体訓練に非常持ち出し品を持参するように働きかけた（三穂）
- ・ 防災訓練参加者は、1家族1名なのか全員参加？（山本）
- ・ 家庭内で災害時を想定して避難方法、避難時の持ち出し等話し合っておくこと推進。災害への意識を持って頂くことから始める（山本）
- ・ 班長、組長への説明会及び組合回覧での周知。（上郷）
- ・ 組織を細分化することにより近所がわかる仕組みとなっている。（上郷）
- ・ 組合加入促進をしっかりと行う。このことにより自身や近所も防災活動に対して身近となり参加しやすい。（上郷）
- ・ 普通救命講習、A E Dの使い方などの参加しやすい講習会の開催（上村）
- ・ 8月を竜丘地区の組合加入強化月間と位置づけ、未加入者に対しても地区防災訓練に参加するよう呼びかけを行っている（竜丘）

②リーダー等の人材育成の工夫

- ・ まちづくり委員会役員や委員が当職で自主防災会を組織構成している。それ以外の住人は、訓練などに参加するのみとなっているのが現状であり、防災のリーダーを育成する形とはなっていない。（橋北）
- ・ 飯田市自主防災リーダー養成研修会に自治会長等の参加（橋北・羽場）
リーダー人材の育成のため、役員は市危機管理課主催のリーダー養成研修会へ積極的に参加している（座光寺）
- ・ 自主防災組織に消防団、警察、消防署等のOBに参画いただき、専門的な知見を生かせるような体制を検討中（下久堅）
- ・ 災害が発生したときは、各地区の区長がリーダーになるよう、日頃から情報伝達等を行っている（千代）
- ・ 訓練時に課題検討会の実施。飯田市危機管理課主催の集会に参加。（川路）
- ・ 毎年、危機管理課長の講演会を実施している（三穂）
支援班（OB）がある。防災リーダーにはリーダーの役割があります。自治体のどの程度の災害発生の恐れがあるか、リークショップ？にして実際に研修を行う（山本）
- ・ 平常時からリーダーとして地域で中心となり活動すること。災害時、地域住民の先頭に立って地域の防災活動を主導して行くことが出来る（リーダーとして心がけたいこと）（山本）

- ・リーダーの育成のために防災士取得の祝い金を検討したい（鼎）
- ・インターネットや小規模で参加できる講習会などをPRする。（上郷）
- ・消防団OBを募りリーダーを育成する。（例50～60歳代）（上郷）
- ・毎年、危機管理課より講師を派遣してもらい研修会を実施している（近年はコロナ感染拡大で未実施）（竜丘）

③ 防災活動を企画・実施する上での工夫

- ・地区基本構想推進委員会の第7分科会（災害に強い安全安心な橋北）が防災計画を立案し、橋北地区自主防災会で実践している。（橋北）
- ・女性の参加（東野）
- ・実際の災害を想定した訓練となるよう心がけている。（座光寺）
- ・飯田女子短大との合同訓練（松尾）
- ・各地区の防災訓練において、支え合いマップを活用した訓練の実施（下久堅）
- ・各団体との十分な打ち合わせにより、連携を図る。特に消防団12分団・自衛消防隊・赤十字奉仕団龍江分団・各区との連携を密にする。（龍江）
- ・地震のみではなく水害に対する防災訓練を36災害の6月27日前後の日曜日に開催（川路）
- ・備品等をすぐに持ち出せるようにリスト化して防災倉庫内に掲示している（三穂）
- ・地域の災害レベルから活動をどうするか検討、マニュアル作成（山本）
- ・防災意識アンケートの実施（上村）
- ・2年度ごと防災役員が改選されるため、改選のタイミングで救命救急講習などを実施している（竜丘）

④ その他、工夫していることがあれば、ご教示をお願いいたします。

- ・多くの方に関心を持ってもらうようPR（回覧等）（東野）
- ・防災組織及び防災計画については、役員からの意見により随時見直しを行っている（座光寺）
- ・太陽光発電電力使用訓練。（龍江公民館・2区人形の館・4区公民館）（龍江）
- ・投光器・エンジン発電機、地区所有アウトドア用具の使用訓練（E-バイク3台・テント・チェア・ガスコンロ・折りたたみベッド・シュラフ・LEDランタン・ポータブル電源・ソーラーパネル等）（龍江）
- ・9月に行う地震防災訓練では、各地区にある消火栓の確認も行っている（千代）
- ・川路水害予防の日（6月27日）を制定した（川路）
- ・本部開設のための事務用品・ベストをすぐ持ち出せる場所にした（三穂）
- ・各区単位での訓練を重点的に実施することで、土砂災害危険時等の避難開設時にも速やかに対応できている（伊賀良）
- ・防災訓練はイメージトレーニング。毎年継続実施することが必要。（上郷）
- ・消防団から小型機関ポンプの払い下げにより有事の際は消火活動に役立っている（上郷）
- ・一部地区において、飯田市社会福祉協議会との連携により、在宅要介護者を自宅から避難所までの搬送訓練を実施予定（上郷）

問9) 今後の活動について何か計画があれば教えてください。（記述・自由回答）

- ・ 指定避難施設の変更（橋南）
- ・ 避難者にも避難者用テント・パーテーション・簡易トイレ等の組立て設置にも参加して頂くことも必要だ。（羽場）
- ・ 自主防災マニュアルなどについて体系的に見直しを進めている（丸山）
- ・ 避難所運営ゲームの実施（東野）
- ・ 有事の際に機能する実効性のある防災訓練となるよう、人員や組織体制の見直しを行っている（下久堅）
- ・ 市の補助制度を活用しながら、防災備品を計画的に整備している（千代）
- ・ 助成金を活用し各地区の防災備品整備を行う（鼎）
- ・ 研修会や学習会を含め、自主防災会本部役員の意識付けを行う事について検討（上郷）
- ・ 有事の際、実際に活動できる自主防災組織への見直しを検討（兼務でない組織）（上郷）
- ・ 竜丘本部の構成員を2年ごとの充て職ではなく、選任として消防団OBや消防署OBなどの経験者で組織していくことを検討している。（竜丘）

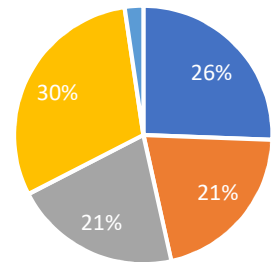
3 自主防災会の活動に必要な支援策について

問10) 活動に関し特に市から支援してもらいたいことをお教えてください。

(複数〇印選択)

- ① 講演会などによる住民の防災意識の向上
- ② 研修などによる防災知識・技術の向上
- ③ 他の防災組織の活動事例の提供
- ④ 活動費や資機材の補助

①	②	③	④	その他
11	9	9	13	1
26%	21%	21%	30%	2%



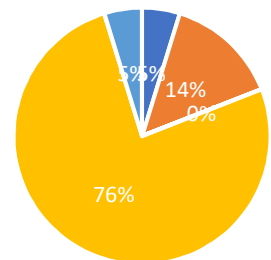
・ 自主防災会組織はあくまでも地域の自主組織であるため、まずは、自分たちで対応し、対応できない部分があれば、関係機関などに相談していきたい（千代）

4 消防団との関わりについて

問11) 自主防災会組織に現役消防団員やOB団員は含まれていますか。

- ① 消防団員は含まれていない。
- ② 現役の団員はいないがOB団員が含まれている。
- ③ 現役OBとも含まれていない。
- ④ 消防団員が含まれている。

①	②	③	④	その他
1	3	0	16	1
5%	14%	0%	76%	5%



理由

- ・ 消防団は消防団としての役割や活動がある。自主防災会は全てまちづくりの当て職で組織構成されている。なかには、過去に団員だった方もいると思われるが、意図したものでない。（橋北）
- ・ 広報、巡回及び防災訓練時の支援で消防団員が含まれる（羽場）
- ・ OB団員の組織化を検討中（丸山）
- ・ 現役、OBとも含まれている。（東野、座光寺、山本、千代）
- ・ 自主防災会本部役員に現役分団長が含まれている（鼎）
- ・ 現役は鼎地区自主防へ行って、地元には残れない（鼎中平）

5 その他

問 12 最後に、その他要望・ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

- ・ 土砂災害危険区域（急傾斜地）に「指定避難施設」が指定されていること自体が問題である。大規模災害時にそのような危険な区域の施設に本当に避難して安全なのかを市議会として検証してほしい。（橋南）
- ・ 昨年はコロナにより防災訓練が実施できなかった。いつの（何年度の）訓練を対象にした調査か示して頂きたかった（松尾）
- ・ 発災直後の防災組織行動訓練（情報収集、避難所開設）等、講師派遣や訓練企画を支援していただきたい。（共助可能という想定の下）（下久堅）
- ・ 全地区民が長期にわたる避難生活を送ることは、二つの指定避難所では無理と予想される。自宅避難や分散避難をもっとアピールする必要があるが、その場合の情報収集、支援物資の供給等を公助・共助として確立する必要がある。（下久堅）
- ・ 川路のハザードマップL2は、天竜川浚渫が全く考慮されていなくて、机上の空論になっています。住民は全く信用しておらず逆に無意味なMapになっています。是非進んでいる改善効果を反映した有効なハザードマップを作り直して頂き住民が真剣に訓練できるハザードマップに改訂して頂くことを強く要望いたします（川路）
- ・ 原発事故に対する対策はどうなっていますか？（三穂）
- ・ 市の消防操法大会は中止願います。各団にて機関の操作ができるように訓練でよい。人口減少の中、団員を集めることは不可、団員家族への負担が多すぎ、大きい。（山本）
- ・ 多目的に活用できる防災・広域で活用できる避難センターを設置。今後設置される計画がある集会施設は避難所に活用を主要な目的として施設とする。（鼎）
- ・ 組合への加入者が減少する中、自主防の役員へのなり手がいない。また、訓練への参加者も加入者のみに限られてしまうが、非常時には、加入している、していないで区別できるわけでない（人道上から）。なんとなく不公平さを感じている。（鼎中平）
- ・ 地域の実情を確認したいのであれば、議員が直接地区に入って調査することが望ましいのではないか。今回のアンケートにより、飯田市へ提言されるが、結果として飯田市から地区に様々な事業が下りてくる内容では困る。（上郷）
- ・ 市内他地区も含め地区避難所開設に対して行政は自主防災組織に任せきりであると感じる。また地域拠点である自治振興センター職員は数名で対応している状況。実際災害が発生した場合、運営を地区へ任せきりでなく市の係わりが必要と考える。（職員派遣など）（上郷）

- ・各地区応急避難施設は一部施設で耐震構造でないため不安である。しかし耐震構造にするためには膨大な費用が必要となるため改修もできない。（上郷）
- ・有事の際は地域の方と協力し運営していくが不安が大きい。その不安を取り除くためにも普段からの訓練が重要と感じる。大規模訓練のほか小規模程度の訓練も実施する必要があるのではないかと感じる。（上郷）
- ・避難所開設は瞬時に機能できるよう訓練の頻度を高める取り組みが必要と感じる。併せて、再掲になるがリーダーの人材育成についても整える必要がある。（上郷）
- ・自主防災組織施設整備補助金補助率は1/2以内であるが増になるよう要望したい。（上郷）
- ・組合加入率が低い地域のため住民全員参加訓練ができない。事実未加入世帯に声がけしても参加していない。工夫して一体的な訓練への参加呼びかけが必要。（上郷）
- ・自主防災会組織員は仕事をしている方が主であるため、有事の際はリーダーをはじめどの程度参集でき避難所運営できるかが課題。（上郷）

※アンケートにご回答頂きました各地区の自主防災会の皆様に感謝申し上げます。

ご協力ありがとうございました。

飯田市議会総務委員会